

志教育の 視点	☒ かかわる ・ ☒ もとめる ・ ☒ はたす
------------	---

活動名	課題研究
教科・領域等	総合的な探究の時間・課題研究
活動学年等	1、2年次
ねらい	グローバルな視点と、地域（ローカル）の視点の双方からさまざまな問題を捉えていこうとする考え方に立脚し、異年齢・校内外の人々とかわり、学校や社会における自己の役割をはたすことで、自らの在り方生き方をもとめる姿勢、および主体的に学び続ける姿勢を育成する。

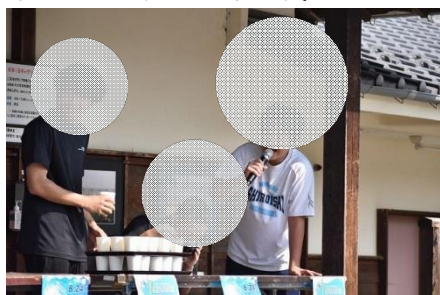
【実践内容】

本校では「総合的な探究の時間」に、特に1、2年次生を中心に、ゼミごとに分かれて課題研究を行っています。「志教育」の目標をもとに、生徒それぞれが自ら設定した課題を解決するために探究活動を行うものですが、その過程でさまざまな人々と関わり、問題解決に向けてさまざまな活動を通し多くのことを生徒は学んでいます。以下にその事例をいくつか紹介します。

実践内容例①「アグリゼミ」

8～9月に白石駅前のすまいる広場（すまいるひろば）で「いぎなり白石フェス」が開催されました（主催：いぎなり白石フェス実行委員会）。本校も課題研究のアグリゼミ、ツーリズムゼミ、環境系ゼミで活動している生徒たちが模擬店やステージイベントを行いました。

8月のフェスでは、アグリゼミから白石の名産品を広めるべく「わんこ温麺大会」の企画チームが参加しました。今回は、地域企業・個人あわせて12組の皆様より協賛金をいただき、やまぶき亭様に温麺の提供をご協力いただきました。実行委員会長にアドバイスをいただきながらシミュレーションを行い、大会実施に辿り着きました。高校生の元気な司会と参加者の食べっぷりに会場も大いに盛り上がりしました。



実践内容例②「環境系ゼミ・ツーリズムゼミ」

9月のフェスでは、環境系ゼミの「梅花藻町興しチーム」とツーリズムゼミの「廃校利用チーム」は日替わりで緑日コーナーを運営しました。今回は子どもたちに興味を持ってもらうことを目的に、梅花藻町興しチームが自作した「梅花藻輪投げ」や「梅花藻パンフレット」、「梅花藻姫塗り絵」を利用して、白石市の沢端川に生えている『梅花藻』という水草のPR活動を行いました。子どもから大人まで幅広い年代の方に挑戦していただき、何度も繰り返し参加する姿も見られました。このイベントを通して、改めて地域のつながりの深さを感じることができました。自分たちが関わっているこの地域社会を、若い力でより良い場所にすべく、今後も様々な活動を通して地域に貢献していきたいと思います。



実践内容③「カフェ・ルナ」班

12月から2月にかけて、課題研究で駅前の活性化に取り組む「駅前カフェ」班が、今年も白石市移住交流サポートセンター109-one（トークワン）の1階をお借りして「カフェルナ」をオープンしました。

今年は、株式会社日専連の大沼さんのご協力で宮城県農業高校とのコラボが実現し、宮農イチゴを提供していただくこととなりました。カフェのオープン前に贈呈式が行われ、宮農生からイチゴの紹介をしていただきました。本校からは昨年の取り組みと今年の活動方針を紹介し、いただいたイチゴでスムージーの試飲会も行いました。事前にPRしたこともあり、おいしい宮農イチゴを使ったカフェメニューを求めて、夕方からのオープン前には行列ができました。この取り組みを通じて多くの方に「宮農イチゴのスムージー」と「宮農イチゴのパフェ」を食べていただきました。

